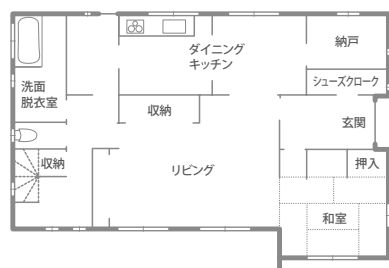




子どもたちがLDKに集まって、思いっきり遊べる家が完成。「家を建てたことで気兼ねなく子育てができます。山内さんは地元で古くからあるので、近かったら寄って来てつながりを感じるし、アフターケアも安心」だと、家を建てた喜びを語るF夫妻。



1st Floor



2nd Floor



玄関から無垢材をふんだんに使用。正面がリビング、左手が和室につながる。



木を曲線に仕上げたオリジナル建具。職人技の細かい手仕事で、キレイな曲線を出している。これができる職人が今では希少だとか。



部屋のアクセントにもなるニッチはインテリアと実用性をかねている。



2階は、1階と雰囲気を変えてデザイン。3人の子もそれぞれに将来個室を造るため、収納や扉の位置に苦労したそう。



家の顔となる玄関は堂々とした雰囲気。玄関の採光を考えて、扉を引き戸にし半透明なガラスを使用している。



ご夫妻の寝室は、シックな色使いで、ラグジュアリーな雰囲気。

「木をふんだんに使っている草の匂いがする家」に憧れていたF主人。安全性や耐久性にも優れた家を建てると信頼を寄せた山内建匠に施工を依頼した。「ほかとくらべて柱の数が多く、これなら安心できると思いました。それに歳を取ってもギャップがなく、長く住める家がかつたので」。そのF主人の信頼に応えるよう、熟練の大工にしかできない丸太梁を屋根裏に用いるなど、ふだん見えない構造部分に匠の技を結集。建具や塗装も同じく、プロが細部までこだわって造り上げている。

「海からの風が吹き抜ける風の通りも山内さんが考えてくれました。おかげでエアコンなしで夏を過ごせましたね」と快適性もバツグン。住むほどに心地よく、安心な暮らしに満足しているF家だった。



心地良い自然風を室内で感じられるように、風の通り道を重視した間取り。ダイニングとリビングはあえて分割して、生活感の見えやすい部分をかくせるように引き戸を付けている。またLDKには材質の異なる太い木の柱を多く使っている。背くらべをする柱は、柱の傷も思い出さなくなるように杉丸太を使用。

## 日本建築の安心感 柱の多い家

MY Favorite House  
新居浜市・F邸



写真左に見えるのが桧向大黒柱で、写真右は杉磨き丸太柱。いずれも太くたくましく、リビングの顔となっている。無意識に木を目にすることで、リラックス効果もあるとか。



飽きが来ないように外観は落ち着いた色目に。また横上げの写真を見せて頂くと、いかに柱が太く数も多いかがわかる。これも山内建匠の特長

### F邸・家づくりこだわりDATA

#### 新居浜市・Fファミリーの場合

●土地の有無	新規購入
●見学社数	20~30社
●見積もり社数	1社
●施工会社の検討期間	約2年
●プラン決定までの期間	約4ヶ月
●こだわったポイントは?	柱の数、工法
●キッチンのメーカーは?	クリナップ

家族構成 / 夫婦+子ども3人  
竣工 / 2011年9月  
構造 / 木造軸組工法2階建  
延床面積 / 161.47㎡ (48.84坪)  
1F / 95.23㎡ (28.81坪)  
2F / 66.24㎡ (20.04坪)  
土地 / 315.5㎡ (95.3坪)

設計・施工 / 山内建匠 有限会社

☎0897-41-0755

企業情報 - P000